

様式及び記入例

※申請当日の年月日

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

医学系研究科長 殿

2022年度入学

専攻名 総合医学専攻
専門分野名 糖尿病・内分泌内科学
氏名 ふりがな 鶴舞 つるまい 花子 はなこ 印

学 位 申 請 書

名古屋大学学位規程第2条の規定により、関係書類を添え申請いたします。

指導教員 承認印	印
-------------	---

受付年月日	年 月 日
受付番号	第 号

※事務記入欄

報告番号	第	号
学位記番号	第	号
授与年月日	年	月 日

履 歴 書

ふりがな 氏 名※1 姓と名の間は全角スペース	つるまい__はなこ 鶴舞__花子 旧字体に注意(戸籍抄本の氏名) 留学生は自国で発行された卒業証明書 のとおり記載すること。 全ての書類で同じ表記にすること。	外字の有無 ※2	☐ あり ☒ なし
氏 名 (英字: Block capital)※1、3	姓(Surname) 名(Given name) (Middle name) 姓は全て大文字 名は最初の1文字のみ大文字 TSURUMAI__Hanako 姓と名の間は全角スペース		
生年月日 (西暦で記入)	1992 年 4 月 24 日 プルダウン	性別	女 プルダウン
本 籍 地 (外国籍は国籍を記入)	愛知県 プルダウン		
現住所	名古屋市昭和区〇〇町1-2-3 自宅住所		
学位取得後の連絡先	【住 所】 名古屋市昭和区〇〇町1-2-3 【電 話】 052-〇〇〇-△△△ 【携 帯】 090-〇〇〇-△△△ 【Email】 〇〇〇@△△△△.××.jp		
所属研究科名 (論文博士は論文提出研究科名)	医学系研究科		
所属専攻名 (論文博士は記入不要)	総合医学専攻		
修了(予定)または満期 退学年月日 (論文博士は記入不要)	2026 年 3 月 25 日 修了 修了、短縮修了、満期退学をプルダウンより 選択。		
学位論文題目	Significant association of <i>urokinase plasminogen activator</i> Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population 大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える。		
学位論文題目翻訳 ※4	日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲン アクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連 主論文の要旨の日本語訳と同題目にする。		
学位の種類	博士(医学)		
プログラム名 ※5	該当者はプルダウンから選択		

- ※1 学位記は本履歴書に記載された氏名表記に基づいて作成します。わかりやすく明確に記入すること。
- ※2 学位記氏名に外字または旧字体、異体字等が使用されている場合は「あり」、なければ「なし」にチェックをしてください。パソコン上で入力ができない表記を含む場合は所属の教務課へご相談ください。
- ※3 英字氏名は、姓のみ全て大文字、後は最初の1字が大文字で残りを小文字で書くこと。
- ※4 論文題目が外国語の場合は、日本語訳を必ず記入すること。論文題目が日本語の場合で、研究科の指示がある場合は、英語訳を記入すること。
- ※5 リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラム修了(予定)者のみ記入すること。

報告番号※事務記入欄	第 号
氏 名	鶴舞 花子
学歴(大学卒業以降、すべて記入すること)すべて西暦で記入。 → 2017年3月10日 名古屋大学医学部医学科卒業 2017年6月1日 大垣市民病院にて研修開始 学部卒業後の2年間の研修期間。 2019年3月31日 同修了 2022年4月1日 名古屋大学大学院医学系研究科博士課程総合医学専攻入学 2026年3月25日 同修了見込 研究歴 なし ※研究歴が無い場合は、 なし と入力。 2019年4月1日 名古屋大学医学部研究生入学 2020年3月31日 同終了 ※留学生は名古屋大学大学院医学系研究科大学院研究生入学 (研究生として在学したことのある方のみ記載。) 職歴 今現在までの職歴(常勤のみ)を全て記載する。 勤務先の機関名(会社名、病院名など)勤務 とする。 部、課、科や役職は不要。 2019年4月1日 大垣市民病院勤務 → 2020年3月31日 同退職 ※職歴が無い場合は、 なし と入力。 ※常勤での勤務期間のみ記入。 2020年4月1日 社会保険中京病院勤務 2024年3月31日 同退職 2024年4月1日 名古屋大学医学部附属病院勤務 現在に至る ※非常勤等、各履歴に空白期間が生じる場合、その期間が空白期間となる詳細についてメール本文等にて説明すること。	

31日卒業の
大学は殆ど
ないため
卒業証明書
などで
確認する。

2年間の研修
期間の続き
から記載。

論文目録

報告番号	※ 甲 第	号	氏 名	鶴舞 花子
主 論 文 1 行空けずに 題目を入力。→ 文頭を「題」 の文字に揃える。 題 目 大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える。 冊 Significant association of <i>urokinase plasminogen activator</i> Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population 主論文の要旨の日本語訳と同題目にする。 (日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連) Gene Therapy 5巻3号 2026年2月掲載予定 8枚 ・ 投稿原稿の場合、又は最終形が出版であるがWeb掲載段階の場合⇒ <u>掲載予定</u> ・ 最終形がWeb版でWeb掲載されている場合⇒<u>掲載</u> ・ 既に出版されている場合⇒<u>発行</u> （既に印刷公表したものについては、その方法及び年月日、未公表のものについては、公表の方法及び時期を記入すること）この文章と下記の（ 同 上 ）は消さずに残す。 副 論 文 研究内容が主論文と直接関係あるもの。 冊 題 目 （ 同 上 ） 参 考 論 文 研究内容が主論文と直接関係がないもの。 冊 題 目 Low-dose granulocyte colony-stimulating factor enables the efficient collection of peripheral blood stem cells after disease-oriented, conventional-dose chemotherapy for breast cancer, malignant lymphoma and germ cell tumor （低用量の顆粒球コロニー刺激因子は、乳癌、悪性リンパ腫および胚細胞腫瘍に対する疾患志向の通常量の化学療法後の十分量の末梢血幹細胞採取を可能にする） Bone Marrow Transplantation 15巻1号 2025年3月発行 英文雑誌の場合は西暦で 和文雑誌の場合は元号で記入。 （ 同 上 ） ← 枠外に出てしまった場合は、 枠内に収まる様に空白行を 削除して収める。				

※様式を崩さず入力する。

論文提出者の履歴表（課程）

研究発表会の年月を記入する。数字は全角、1桁の場合は全角スペース。

[予備審査 2025 年__6 月終了]

※1. ～ 7. の番号と番号の間は2行空ける。

「ルビ」でふりがな(サイズは6 pt)

1. 氏名 ^{つるまい}鶴舞 ^{はなこ}花子__ (1992 年__4 月24 日生)

※数字は全角、1桁の場合は全角スペース。

2. 専攻 総合医学専攻 入学年度のシラバスで確認する。
病態内科学講座__糖尿病・内分泌内科学

3. 論文題目および著者名 英文タイトルの大文字・小文字の使い分け、イタリック、
スペース等を原著に揃える。

Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum
lipid profiles in a Japanese population

主論文の要旨の日本語訳と一致させる。

(日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型
Pro141Leu と血清脂質特性との有意な関連)

全角スペース読点

※漢字氏名がある場合は漢字。※英字氏名の場合はカタカナ。

鶴舞__花子、学務__次郎、李__梅花、名古屋__三郎、スミス__ジェームス__シー
名大-愛知__桜子

(ラスト) (ファースト) (ミドル)の順

※論文で新姓・旧姓を記載している場合はその通りに記載。

4. 公表 Gene Therapy__5 巻3 号__2026 年2 月掲載予定__8 枚 IF:4.184
論文目録と一致させる。数字は半角。

毎年6 月に発表される前年度分の
インパクトファクターの数値。

5. 指導教授 ○○○○原則、指導教授氏名(教授または代理教授不在の場合は、准教授
または特命教授氏名)氏名の姓と名の間は詰める。(姓または名が1 文字の
場合のみ、姓と名の間に全角スペース。例：○○ ○、○ ○○○など)

6. 審査委員 (主) ○○○○__○○○○__○○○○

教授氏名と教授氏名の間は全角スペース。

氏名の姓と名の書き方は5. と同じです。

7. 備考 2022 年__4 月__1 日入学 ※数字は全角、1桁の場合は全角スペース。
2026 年__3 月25 日修了見込 満期退学の場合は31 日満期退学
(休学期間：なし) とする。

※この様式は文書全体をカーソルで選択して、ホームタブのフォントグループ右下の
ダイアログボックス起動ツールの矢印をクリックしてダイアログボックスを開き、
以下の設定で作成されているため、完成版も下記設定で作成し、且つ、イタリック等に留意した、
正しい内容で記載されたものを提出すること。

【フォントタブ】日本語用のフォント：MS明朝、英数字用のフォント：MSP明朝
スタイル：標準、サイズ10.5

【詳細設定タブ】倍率：100%、文字間隔：広く、間隔：1Pt、位置：標準

主論文の要旨

Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population

※ 英文タイトルの大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える

日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノー
ゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との
有意な関連

※ 全ての書類の日本語訳について、こちらと同題目にしてください。

専攻名、講座名、分野名は入学年度のシラバスで確認してください。

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻
病態内科学講座 糖尿病・内分泌内科学分野

原則、指導教授(教授、または
代理教授。不在の場合は准教授 → (指導 : ○○ ○○ 教授)
または特命教授)

鶴舞 花子 ←旧字体に注意(戸籍抄本の氏名)

留学生は自国で発行された卒業証明書の
とおり記載のこと

論文のインターネット公表について

- 2013年3月25日以降学位論文は、インターネットでの公表が義務づけられています。
- 別紙6の提出は全員必須です。
- ジャーナル等への著作権の確認は申請者に行っていただきます。
- 確認事項は、学位取得にあたり名古屋大学リポジトリに学位論文を登録して全文をインターネットにて公表が可能であるか。
可能でない場合は特定の日以降に公表が可能であるか。
その場合は公表可能日はいつか。

公表の可否に関わらず、ジャーナルにおける裏付となる根拠書類を添付すること。

- 期限日以降に公表可能な場合は、別紙6に公表日を記入すること。

なお、上記手続きを行わない場合は学位論文の受理申請を受けつけません。

参考サイト:名古屋大学附属図書館

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/>

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/hakuron/copyright.html>

根拠省令

学位規則

(1953年4月1日 文部省令第九号)

最終改正:2013年3月11日 文部科学省令第五号

第9条

博士学位授与申請者 各位

「博士論文」のインターネット公表確認書の提出について（依頼）

学位規則（1953年4月1日文部省令第九号）では、博士の学位を授与された者は、大学院における教育研究成果の電子化及びオープンアクセスの推進の観点から、博士論文についてインターネットを利用して公表することになっております。

しかしながら、やむを得ない特別な事由があると大学の承認を受けた場合には、インターネットでの公表を、当該論文の全文に代えてその内容を要約したものとすることができます。ただし、この場合であっても、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供する必要があるります。

ついては、博士学位授与後に論文全体をインターネット利用により公表することについて、別紙6「博士論文のインターネット公表確認書」の選択肢（【全文の公表が可能】，【全文の公表の保留を希望】，【要約の公表を希望】（全文の公表ができない場合））のいずれかの□にレ点チェックの上、博士学位授与申請に併せて提出くださるようお願いいたします。

<留意事項>

- ① 審査を行った研究科がやむを得ない事由があると認めた場合は、博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを名古屋大学学術機関リポジトリの利用により公表することになります。

なお、出版刊行や学術ジャーナル等への掲載により公表に制約がかかる場合にあっては、公表が制約される時期が経過後に博士論文の全文を公表することになります。

- ② 博士論文の全文をインターネットで公表しない場合、又は、一定の期間を非公開とする場合であっても閲覧に供する必要があります。本学では、博士論文の電子データをもって本学附属図書館窓口にて閲覧に供することになります。

また、国立国会図書館でも利用に供されます。

- ③ 学術ジャーナルへの掲載又は出版刊行等のため、インターネットでの公表に際し著作権処理が必要になる場合は、各自、適切に処理してください。

博士論文のインターネット公表確認書

2025 年9月8日

名古屋大学大学院 医学系研究科長 殿

※申請当日の年月日

学位の区分	課程	研究科・専攻	医学系研究科・総合医学専攻
学位授与 予定日	2026年 3月25日	ふりがな 氏 名	つるまい はなこ 鶴舞 花子

□【全文の公表が可能】

提出した博士論文（全文）について、公表することに問題はありません。

※全文の公表にあたり、出版社等から、例えば論文の体裁を変更する等の条件の指定がある場合は、その内容が分かる書類を併せて提出してください。

□【全文の公表の保留を希望】 ※ 保留期間中は要約を公表

提出した博士論文（全文）について、下記事由のため、インターネット公表の保留を希望し、保留期間中は要約を公表します。なお、下記事由の消滅等に伴う所定の届出書（様式：別紙7）については、自動的に公表となる場合を除き必ず提出いたします。

項 目	事 由	様式:別紙7 の提出時期
□図書出版	□出版済み。出版社の著作権ポリシーを確認した結果、(年 月 日)まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	□出版予定(年 月 月予定)で、出版社の著作権ポリシーを確認した結果、(出版後・ 年 月 日)まで公表することができない。	公表可能日 (直後)
	□出版予定(平成 年 月 月予定)で、出版社の著作権ポリシーを確認することができない。	出版予定日 又は出版日 (直後)
□学術ジャーナル等への掲載	□掲載済み。出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、(年 月 日)まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	□掲載予定(年 月 月予定)で、出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、(掲載後・ 年 月 日)まで公表することができない。	公表可能日 (直後)
	□掲載予定(年 月 月予定)で、出版社等の著作権ポリシーを確認することができない。	掲載予定日 又は掲載日 (直後)
□特許・実用 新案出願	□特許出願予定又は審査中(出願公開前) 出願(予定) : 年 月	出願公開日 (直後)
	□実用新案出願予定又は審査中 出願(予定) : 年 月	登録日 (直後)
□その他	(具体的な事由を記載)	事由の消滅日

☑【要約の公表を希望】 (全文の公表ができない場合)

提出した博士論文（全文）について、下記事由のため、インターネット公表はできませんので、要約での公表を希望します。

(具体的な事由を記載してください) 出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、アクセプト原稿であれば出版の6ヵ月後に公表可能であるが、最終出版版である論文の全文公表は出来ない。本学位論文は最終出版版の論文であるため公表不可である。

(記入例) ・図書出版や学術ジャーナル等への掲載において、出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、全文での公表ができない。
(出版社等の著作権ポリシーを明記した書類の添付が必要)
・博士論文が立体形状による表現等を含むためインターネットでの公表ができない。
・秘匿すべき情報を含む又は公表することで重大な支障をきたす恐れがあるため。

作成の際の注意事項

博士学位授与後に論文全体をインターネット利用により公表することについて、表面の選択肢（【全文の公表が可能】，【全文の公表の保留を希望】，【要約の公表を希望】（全文の公表ができない場合））のいずれかの□にレ点チェックの上，博士学位授与申請に併せて提出してください。

<留意事項>

- ① 審査を行った研究科がやむを得ない事由があると認めた場合は，博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを名古屋大学学術機関リポジトリの利用により公表することになります。
なお，出版刊行や学術ジャーナル等への掲載により公表に制約がかかる場合にあつては，公表が制約される時期が経過後に博士論文の全文を公表することになります。
- ② 博士論文の全文をインターネットで公表しない場合，又は，一定の期間を非公開とする場合であっても閲覧に供する必要があります。本学では，博士論文の電子データをもって本学附属図書館窓口にて閲覧に供することになります。
また，国立国会図書館でも利用に供されます。
- ③ 学術ジャーナルへの掲載又は出版刊行等のため，インターネットでの公表に際し著作権処理が必要になる場合は，各自，適切に処理してください。

Sherpa Romeo

こちらのサイトで、journalの著作権を確認することが可能ですが、正式にjournalが出しているものではないため、こちらで検索した結果を裏付資料としてご提出いただくことは出来ません。journalの著作権の方向性を確認する際の参考にして下さい。

Jisc Open policy finder
Formerly Sherpa services

Select your institution ▼ Menu ☰

Join Jisc open policy finder Advisory Board [See more about this update](#)

Nature

Publisher [Nature Research](#) | ISSN 0028-0836 | eISSN 1476-4687

[← Back to search results](#) [Report an error](#)

Journal Policy Open Access Compliance Transitional Agreement Look-up Journal Details Record Information

Version:

☒ Show all ☐ Published ☐ Accepted ☐ Submitted

Published **Option with associated OA fees, no embargo & CC BY licence**
[Show](#)

Published **Option with associated OA fees, no embargo & CC BY-NC-ND licence**
[Show](#)

Accepted **Option with 6 months embargo & Publisher's Bespoke License licence**
[Show](#)

Submitted **Option with no embargo**
[Show](#)

Policy Links

- [Self archiving and license to publish](#)
- [Preprints and Conference Proceedings](#)
- [Accepted manuscript terms of use](#)
- [Plan S compliance for Springer Nature authors](#)
- [Publishing options \(example\)](#)

Accepted **Option with 6 months embargo & Publisher's Bespoke License licence**
[Hide](#)

Embargo
6 months

Licence
Publisher's Bespoke License

Copyright Owner
Authors

Locations
Author's Homepage
Funder Designated Location
Institutional Repository
Named Repository (PubMed Central, Europe PMC)

Conditions
Must link to publisher version
Published source must be acknowledged and DOI cited
Post-prints are subject to Springer Nature re-use terms
Non-commercial use only

[Editorial policies](#)

[Authorship](#)

[Competing interests](#)

[Research Ethics](#)

[Reporting standards and availability of data, materials, code and protocols](#)

[Image integrity and standards](#)

[Plagiarism and duplicate publication](#)

[Corrections, Retractions and Matters Arising](#)

[Peer Review](#)

[Confidentiality](#)

[Acknowledgements](#)

[Preprints & Conference Proceedings](#)

[Press and embargo policies](#)

[Self archiving and license to publish](#)

[Appeals & Complaints](#)

[Artificial Intelligence \(AI\)](#)

[Collections, Guest Edited Collections, and Special Issues](#)

[Communicate with Respect](#)

[Clinical Research](#)

Self archiving and license to publish

Publishing licences and compliance with open access mandates.

On this page

- [Nature Portfolio author licence policy](#)
- [Creative commons licences](#)
- [Self-archiving policy](#)
- [Springer Nature terms for use of archived author accepted manuscripts of subscription articles](#)

Nature Portfolio author licence policy

This policy applies to all journals published by Nature Portfolio, including Nature and the journals with "Nature" in their titles.

Nature Portfolio's policies are compatible with the vast majority of funders' open access and self-archiving policies.

Nature Portfolio does not require authors of original (primary) research papers to assign the copyright of their published contributions. Authors grant Nature Portfolio an exclusive licence to publish, in return for which they can reuse their papers in their future printed work without first requiring permission from the publisher of the journal.

For non-primary articles (including articles such as Reviews, Perspectives, Comments, News & Views), copyright is retained by Springer Nature. This includes, but is not restricted to, commissioned content and all content published in the *Nature Reviews* journals.

General information about licencing policies and re-use can be found at the [reprint and permission website](#).

[Top of page ↗](#)

Creative commons licences

Nature Portfolio open access and hybrid journals

Open access articles in {{{journal name}}} are published under a CC BY-NC-ND (Creative Commons Attribution Non-Commercial No Derivatives 4.0 International licence) or CC BY (Creative Commons Attribution 4.0 International licence) licence.

- [CC BY-NC-ND](#): The article can be shared for non-commercial purposes as long as the authors are credited. Permission is needed for commercial re-use or sharing adapted and derivative versions.
- [CC BY](#): The article may be shared and adapted for any purpose, including commercially, so long as the authors are credited. To learn more about OA licences visit our [licensing and copyright guide](#).

To learn more about OA licences visit our [licensing and copyright guide](#).

All Springer Nature journals with an open access option offer intergovernmental organisation (IGO) versions of Creative Commons licences on request, where required by the author's employer.

Authors are advised to check their funder's open access requirements, to ensure compliance. For more information about open access licensing, please see "OA licensing and copyright" on our [journal open access policies page](#) on SpringerNature.com.

Self-archiving policy

Nature Portfolio's policies are compatible with the vast majority of funders' open access and self-archiving mandates.

Preprints

Nature Portfolio journals encourage posting of preprints of primary research manuscripts on preprint servers of the authors' choice, authors' or institutional websites, and open communications between researchers whether on community preprint servers or preprint commenting platforms.

Preprints are defined as an author's version of a research manuscript prior to formal peer review at a journal, which is deposited on a public server (as described in [Preprints for the life sciences. *Science* 352, 899–901; 2016](#)); preprints may be posted at any time during the peer review process. Posting of preprints is not considered prior publication and will not jeopardize consideration at Nature Portfolio journals. Manuscripts posted on preprint servers will not be taken into account when determining the advance provided by a study under consideration at a Nature Portfolio journal.

Springer Nature has partnered with Research Square (Springer Nature has a majority interest in Research Square) to provide *In Review*, a journal-integrated solution for preprint sharing, supporting authors across all the communities we serve to share their research early. Authors submitting to some Springer Nature journals are also able to publicly share information regarding their peer review through *In Review*. More information about application of *In Review* to Nature journals can be found [here](#); general

information about *In Review* at Springer Nature and the Research Square preprint platform can be found [here](#) and [here](#).

Our policy on posting, licensing, citation of preprints and communications with the media about preprints of primary research manuscripts is summarized below.

Authors should disclose details of preprint posting, including DOI and licensing terms, upon submission of the manuscript or at any other point during consideration at a Nature Portfolio journal. Once the preprint is published, it is the author's responsibility to ensure that the preprint record is updated with a publication reference, including the DOI and a URL link to the published version of the article on the journal website.

Authors may choose any license of their choice for the preprint including Creative Commons licenses. The type of CC-license chosen will affect how the preprint may be shared and reused. More information to help guide licensing choices can be found in [these](#) resource documents developed by an ASAPbio licensing taskforce.

Preprints may be cited in the reference list of articles under consideration at Nature Portfolio journals as shown below:

Babichev, S. A., Ries, J. & Lvovsky, A. I. Quantum scissors: teleportation of single-mode optical states by means of a nonlocal single photon. Preprint at <http://arxiv.org/abs/quant-ph/0208066> (2002).

Authors posting preprints are asked to respect our [policy](#) on communications with the media. Researchers may respond to requests from the media in response to a preprint or conference

presentation by providing explanation or clarification of the work, or information about its context. In these circumstances, media coverage will not hinder editorial handling of the submission. Researchers should be aware however that such coverage may reduce or pre-empt coverage by other media at the time of publication. We also advise that researchers approached by reporters in response to a preprint make it clear that the paper has not yet undergone peer review, that the findings are provisional and that the conclusions may change. More information to help guide responsible communication of research reported in preprints can be found in these resource documents developed by the ASAPbio [Preprints in the Public Eye](#) project.

Information about our self-archiving policies and release of Author's Accepted Manuscript may be found [here](#).

Self-archiving of papers published via the subscription route

When an article is accepted for publication in a Nature Portfolio journal via the subscription route, authors are permitted to self-archive the accepted manuscript on their own personal website and/or in their funder or institutional repositories, for public release six months after publication. Authors should cite the publication reference and [DOI number](#) on the first page of any deposited version, and provide a link from it to the URL of the published article on the journal's website.

Where journals publish content online ahead of publication in a print issue (known as advanced online publication, or AOP), authors may make the archived version openly available six months after online publication (AOP).

Please note that the accepted manuscript may not be released under a Creative Commons license. Further information and guidance on self-archiving of articles published via the subscription route can be found on our [open access policies for journals page](#). For Springer Nature's accepted manuscript terms of use, please see: <https://www.nature.com/nature-research/editorial-policies/self-archiving-and-license-to-publish#terms-for-use>.

Self-archiving of papers published open access

For open access content published under a Creative Commons licence, authors are encouraged to deposit the published version immediately on publication, alongside a link to the URL of the published article on the journal's website.

In all cases, the requirement to link to the journal's website is designed to protect the integrity and authenticity of the scientific record, with the online published version on nature.com clearly identified as the definitive version of record.

Springer Nature terms for use of archived accepted manuscripts of subscription articles

For articles published within the Springer Nature group of companies that have been archived into academic repositories such as institutional repositories, PubMed Central and its mirror sites, where a Springer Nature company holds copyright, or an exclusive license to publish, users may view, print, copy, download and text and data-mine the content, for the purposes of academic research, subject always to the full conditions of use. Any further use is subject to permission from Springer Nature. The conditions of use are not intended to override, should any national law grant further rights to any user.

Conditions of use

Articles published within the Springer Nature group of companies which are made available through academic repositories remain subject to copyright. The following restrictions on use of such articles apply:

Academic research only

1. Archived content may only be used for academic research. Any content downloaded for text based experiments should be destroyed when the experiment is complete.

Use must not be for Commercial Purposes

2. Archived content may not be used for purposes that are intended for or directed towards commercial advantage or monetary compensation by means of sale, resale, licence, loan, transfer or any other form of commercial exploitation ("Commercial Purposes").

Wholesale re-publishing is prohibited

3. Archived content may not be published verbatim in whole or in part, whether or not this is done for Commercial Purposes, either in print or online.

4. This restriction does not apply to reproducing normal quotations with an appropriate citation. In the case of text-mining, individual words, concepts and quotes up to 100 words per matching sentence may be used, whereas longer paragraphs of text and images cannot (without specific permission from Springer Nature).

Moral rights

5. All use must be fully attributed. Attribution must take the form of a link—using the article DOI—to the published article on the journal's website.

6. All use must ensure that the authors' moral right to the integrity of their work is not compromised.

Third party content

7. Where content in the document is identified as belonging to a third party, it is the obligation of the user to ensure that any use complies with copyright policies of the owner.

Use at own risk

8. Any use of Springer Nature content is at your own risk and Springer Nature accepts no liability arising from such use.

[Top of page ↗](#)

Nature Portfolio

別紙6 外国の出版社に著作権許諾を聞く場合のメールの文章例

(ジャーナルや出版社のHPにて、著作権に関するページが見当たらない場合)

Dear Publisher,

Thank you for publishing our article. We hope to use our ***article (publisher version PDF)** as a thesis of ○○○(申請者氏名).

Our government requests us to make a thesis available online to the public, if permission is obtained by the publisher.

If this is against your policy, please let us know. We need a proof that the publisher declined the online release of our ***article (publisher version PDF)**.

If you can set up an embargo of the online release, please let us know the date of embargo.

Thank you.

Sincerely,

○○○(申請者氏名).

※学位申請時のバージョンの論文について問い合わせてください。

●manuscript(Word file of authored manuscript converted to PDF)

← PDF 化した著者最終原稿(Word 原稿)

●article (publisher version PDF) ← レイアウトが整った出版社版 PDF

レイアウトが整ったオンライン出版社版 PDF

学位論文は申請時点において最新の状態である必要があり、申請時のバージョンの論文が学位論文として図書館にリポジトリ登録されます。

申請後、段階の進んだバージョンの論文に差し替えたり、申請時のバージョンから遡ったバージョンの論文をリポジトリ登録することを不可とします。

例) 申請時の最新の状態が、Web 掲載のオンライン出版社版=article(on line publisher version PDF)の場合、Word 原稿=著者最終原稿(manuscript)を学位論文としたり、リポジトリ登録することはできません。

バージョン別カテゴリー

A

- ・ 著者最終原稿 (author proof)
- ・ word原稿
- ・ manuscript
- ・ accepted author manuscript
- ・ accepted version
- ・ in press
- ・ post print
- ・ peer reviewed version

B

- ・ オンライン出版社版
published online
-
- ・ ジャーナル編集中pdf版
(巻・号等未定)
 - ・ corrected article
 - ・ online first
 - ・ e pub ahead of print
 - ・ in press
-
- ・ ジャーナル編集済pdf版
(最終版) (冊子の出版がない雑誌)
 - ・ final article
 - ・ version of record

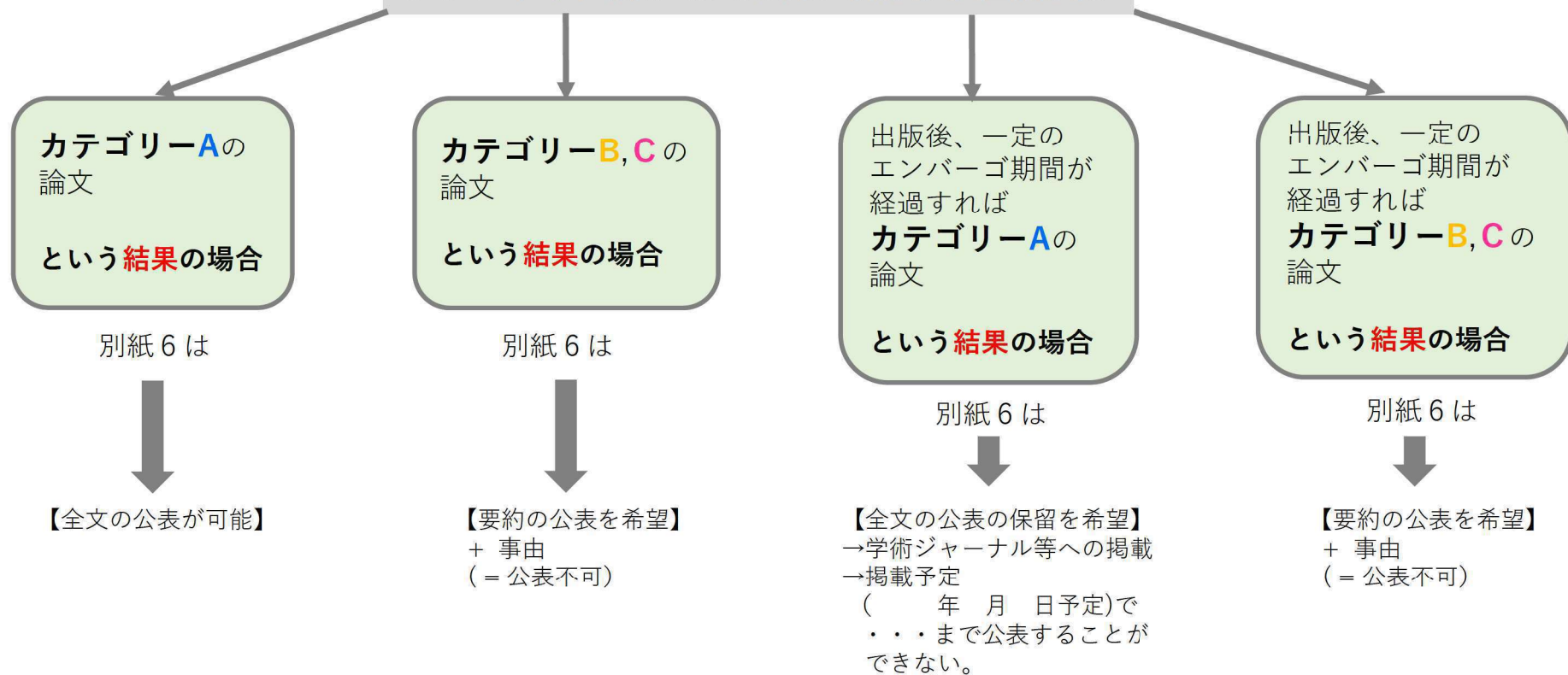
C

- ・ 出版社版
- ・ ジャーナル編集済pdf版
(最終版) (冊子掲載論文のpdf)
- ・ final article
- ・ final published version/pdf
- ・ version of record
- ・ published Journal article
- ・ publisher version/pdf

学位論文のバージョンがカテゴリー **A** の場合

学位申請する論文のジャーナルのHP等にて、
著作権（copyright policy、self archiving、terms and conditions等）の内容を確認した**結果**

リポジトリ登録による公表可能な学位論文が



学位論文のバージョンが**カテゴリーB**の場合

学位申請する論文のジャーナルのHP等にて、
著作権（copyright policy、self archiving、terms and conditions等）の内容を確認した**結果**

リポジトリ登録による公表可能な学位論文が

カテゴリー**A**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

カテゴリー**B, C**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【全文の公表が可能】

カテゴリー**C**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリー**A**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリー**B, C**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【全文の公表の保留を希望】
→ 学術ジャーナル等への掲載
→ 掲載予定
(年 月 日 予定)で
・・・まで公表することが
できない。

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリー**C**の
論文

という**結果**の場合

別紙6は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

学位論文のバージョンが**カテゴリーC**の場合

学位申請する論文のジャーナルのHP等にて、
著作権（copyright policy、self archiving、terms and conditions等）の内容を確認した**結果**

リポジトリ登録による公表可能な学位論文が

カテゴリー**A**の
論文

という**結果**の場合

別紙 6 は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

カテゴリー**B, C**の
論文

という**結果**の場合

別紙 6 は

【全文の公表が可能】

カテゴリー**C**の
論文

という**結果**の場合

別紙 6 は

【全文の公表が可能】

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリー**A**の
論文

という**結果**の場合

別紙 6 は

【要約の公表を希望】
+ 事由
(= 公表不可)

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリー**B, C**の
論文

という**結果**の場合

別紙 6 は

【全文の公表の保留を希望】
→学術ジャーナル等への掲載
→掲載済。
・・・まで公表することが
できない。

出版後、一定の
エンバーゴ期間が
経過すれば
カテゴリー**C**の
論文

という**結果**の場合

別紙 6 は

【全文の公表の保留を希望】
→学術ジャーナル等への掲載
→掲載済。
・・・まで公表することが
できない。

学位論文に関する情報開示

記入例

2025年 9月 8日
※申請当日の年月日

1 専攻名総合医学専攻

2 分野名●●●●●学

3 氏名鶴舞 花子

4 学位論文（全著者名, 論文タイトル, 雑誌詳細）
(例) Tsurumai H, Gakumu J, Lee M, Nagoya S, Smith C J and Meidai-Aichi S.
Significant association of urokinase plasminogen activator Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population.
Gene Therapy, 2026 Feb;5(3):539-545.
Tsurumai H, Gakumu J, Lee M, Nagoya S, Smith C J and Meidai-Aichi S.
Significant association of urokinase plasminogen activator Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population.
Gene Therapy, 2026 Feb;5(3):539-545.

5 学位論文掲載誌はPubMedのMEDLINEに登録されていますか？（PMCのみはNoになります）
Noの場合、雑誌創刊年はいつですか。コメントがある場合は以下の欄に記述してください。

Yes

Year

(注) PubMedのMEDLINEの登録有無は<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog?term=currentllyindexed>
雑誌創刊年は<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>で検索できます。

6 学位論文掲載誌はWeb of ScienceのSCIEに登録されていますか？（ESCIはNoになります）
Yesの場合、最新のインパクトファクターはいくつですか。

Yes

IF4.184

Noの場合、雑誌創刊年はいつですか。コメントがある場合は以下の欄に記述してください。

Year

(注) Web of ScienceのSCIEに登録された雑誌にはインパクトファクターが付きます。
SCIEの登録有無は<http://mjl.clarivate.com/cgi-bin/jrnlst/jlresults.cgi?PC=D&Alpha=A>で検索できます。
雑誌創刊年は<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>で検索できます。

7 学位申請者は単独の筆頭著者ですか？(equal contributorとなる筆頭著者が居ない)
Noの場合（複数の筆頭著者）は、筆頭著者の氏名を明記の上、equal contributorsの貢献を具体的かつ詳細に記述してください。回答がNoの場合のみ「同意書」のご提出が必要です。

No

equal contributor 学務 次郎
この実験のデザインや実験に取り組み、その研究成果の執筆を行った。

8 学位論文のcontributorsの開示欄に、学位申請者が、論文もしくは論文ドラフトを書いたことが明示されていますか？
Noの場合、学位申請者が論文執筆にどのような貢献をしたか具体的に記述してください。

No

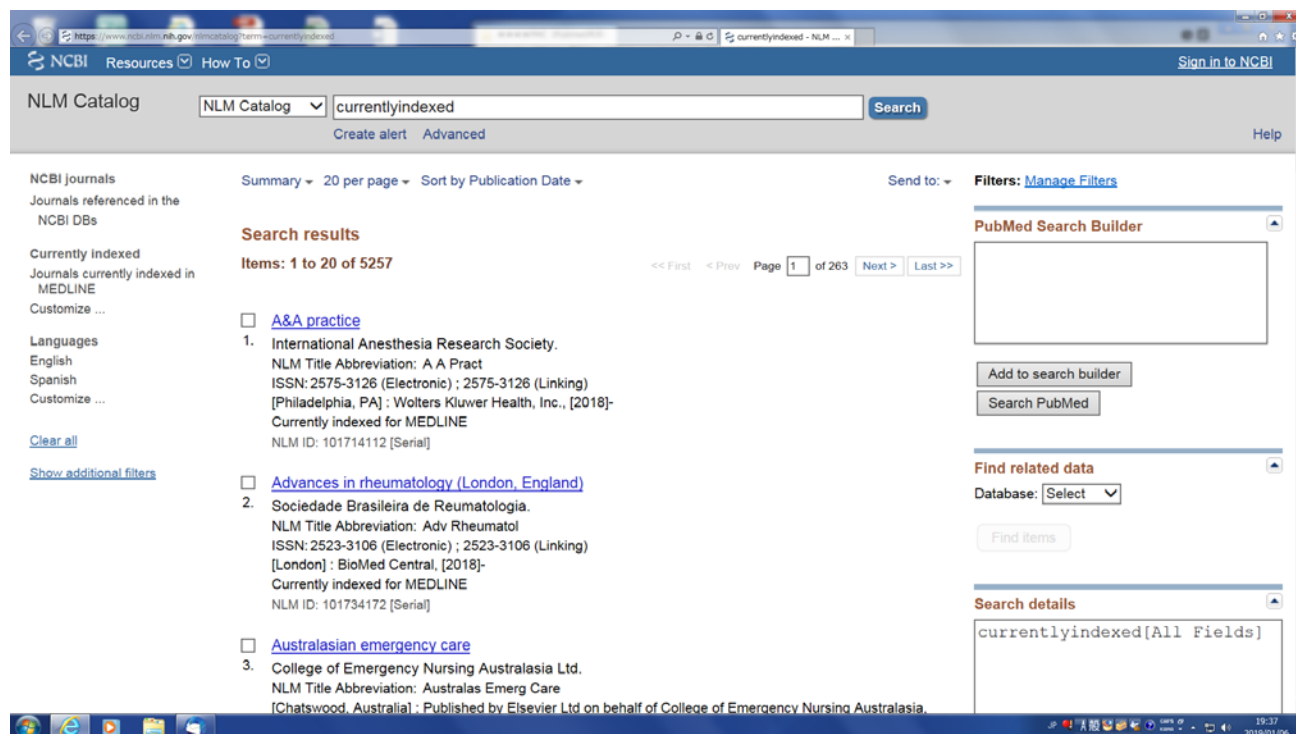
学位申請者がこの研究に取り組み、主要なデータを採り、その研究成果をまとめて執筆した。

指導教員（自著）

印

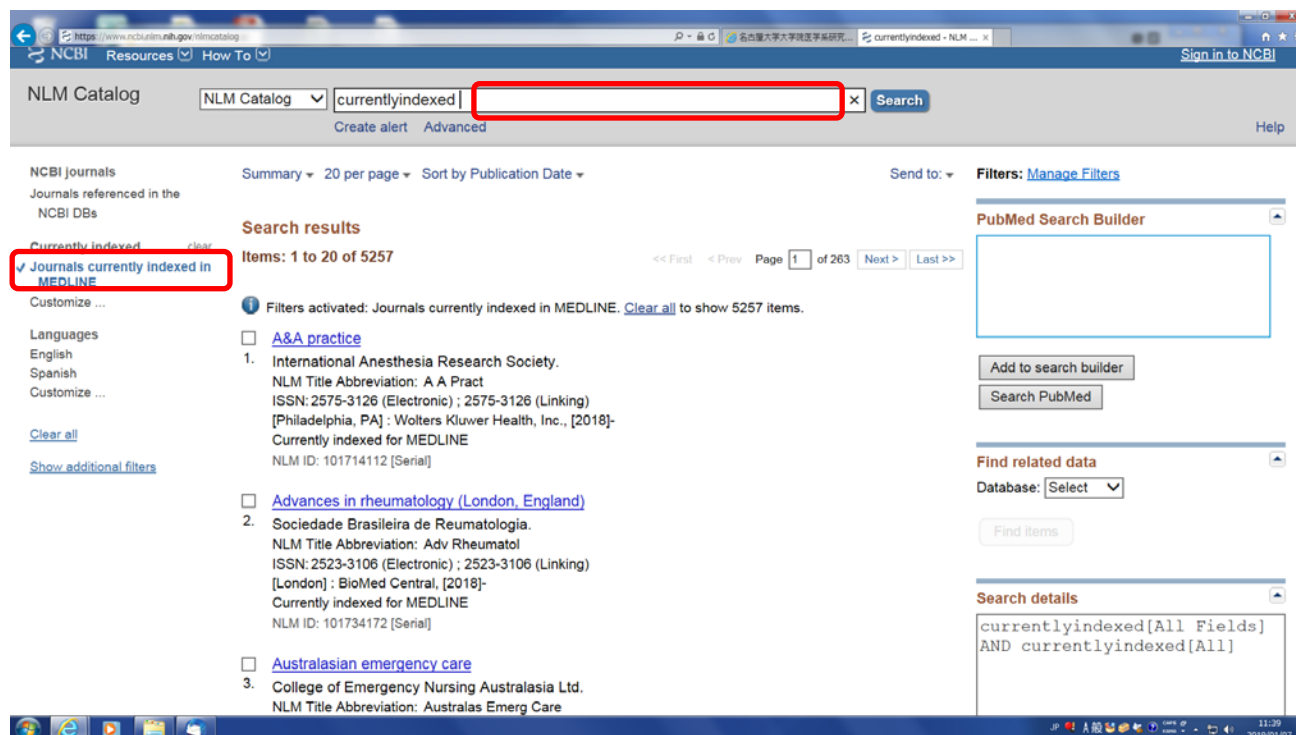
◆ MEDLINE における選定収録の確認 ◆

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog?term=currentlyindexed>



米国国立生物工学情報センター(NCBI)が運営する上記 WEB ページにて NLM Catalog 検索とする。

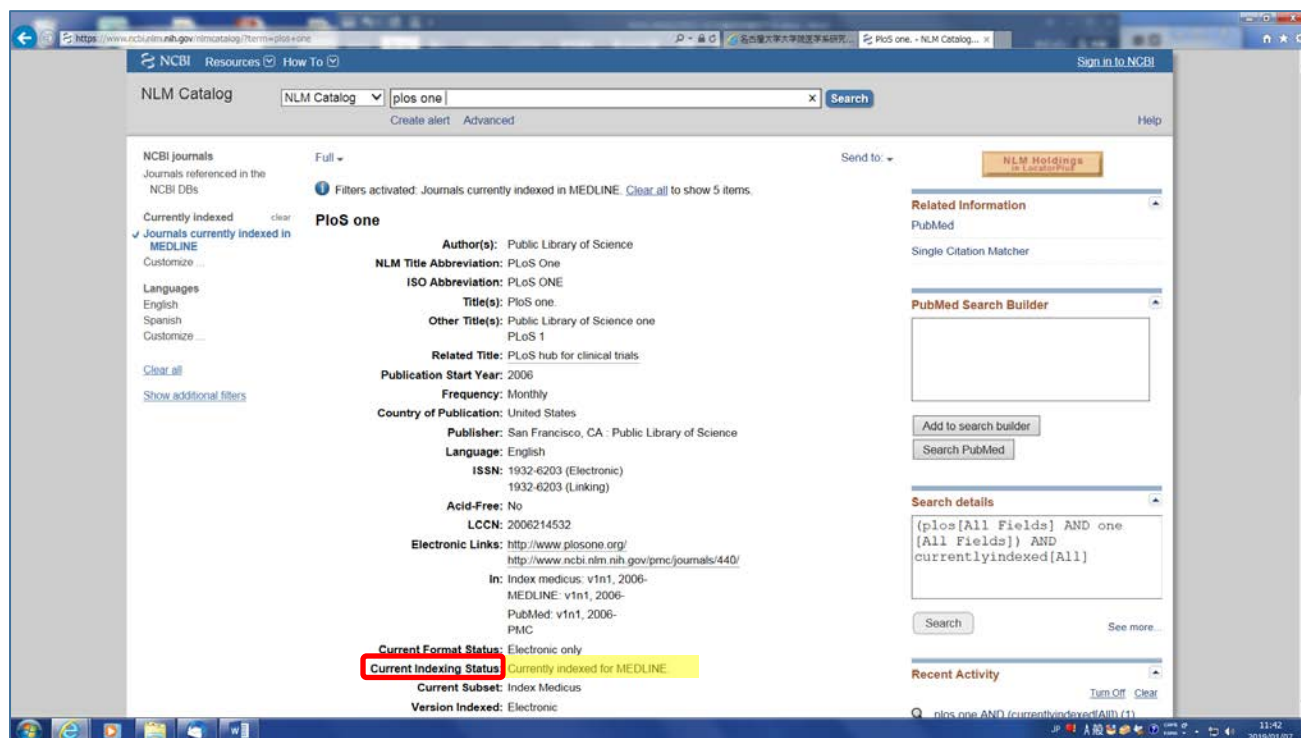
”Journals currently indexed MEDLINE” を選択の上、currentlyindexed 欄に雑誌名を入力して検索。



検索の結果、雑誌の詳細が表示される。

「 **Current Indexing Status : Currently indexed for MEDLINE.** 」

の表示があることを確認し、当該部分を**マーキング**したものを学位申請書類とともに提出する。

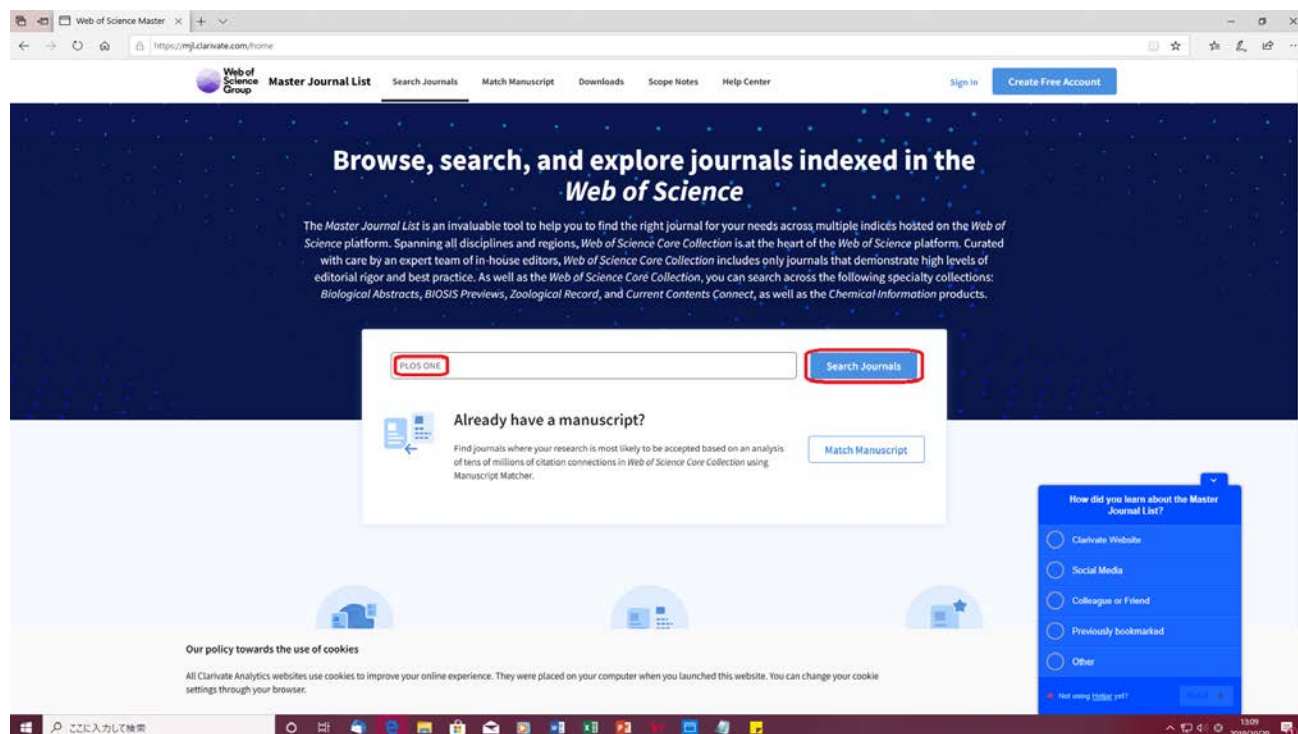


注意 PMC(旧 PubMed Central)は MEDLINE とは異なります。

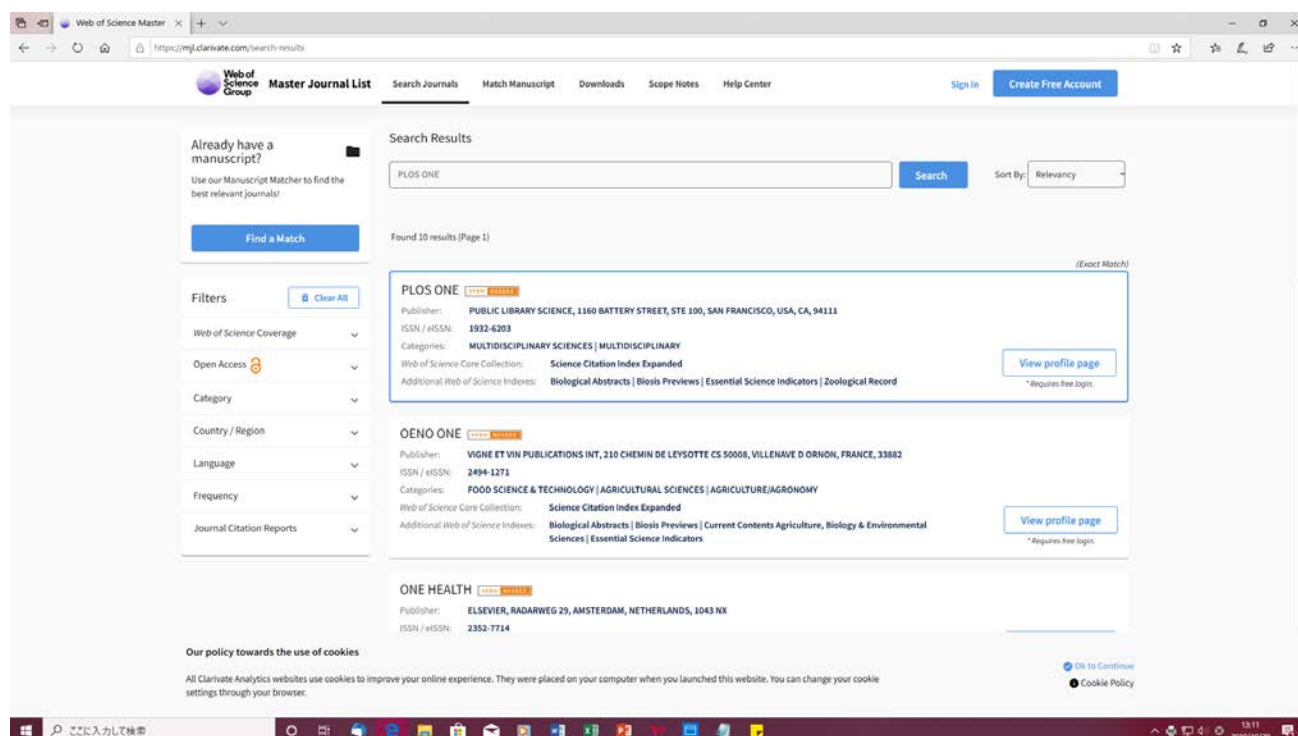
PMC のみでは、医学系研究科博士学位申請論文として、**原則認められません。**

◆ Web of Science (SCIE) における選定収録の確認 ◆

<https://mjl.clarivate.com/home>

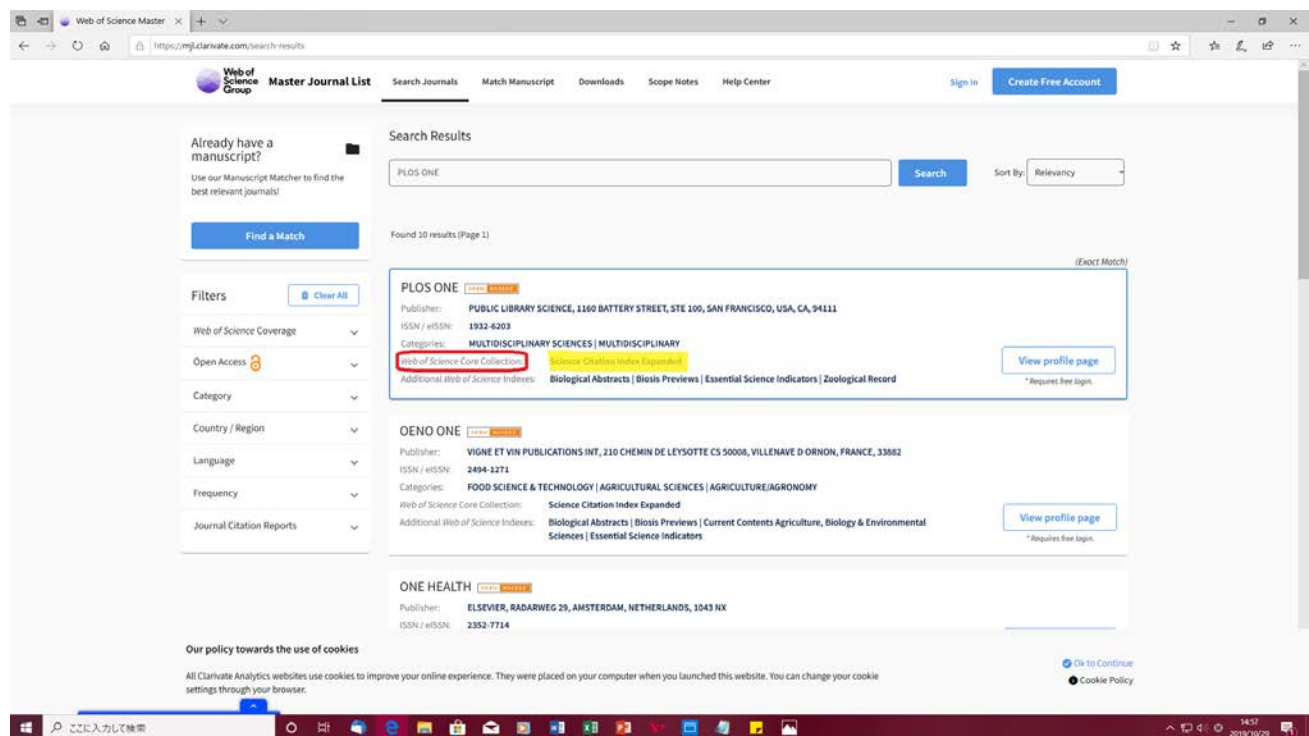


上のページにて「学位論文掲載雑誌名」を入力して検索する。



学位論文掲載雑誌の詳細が表示される。

Web of Science について **Science Citation Index Expanded** の
選定収録雑誌であることを確認する。
当該部分を **マーキング** したものを学位申請書類とともに提出する。



SCIE : **Science Citation Index Expanded**

Science Citation Index Expanded の表示があれば、
当該雑誌には IF(インパクトファクター)が付与されていますので、別紙8へ IF の数値も記入すること。

注意 **ESCI(Emerging Sources Citation Index)** は、医学系研究科博士学位申請論文として、
原則認められません。